

## 報告書抄録

ふりがな	まつばらないこいせきⅢ							
書名	松原内湖遺跡Ⅲ							
シリーズ名	琵琶湖流域下水道事業（東北部浄化センター増設工事）に伴う発掘調査報告書							
シリーズ番号	Ⅲ							
編集者名	鈴木康二・株式会社古環境研究所							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課			公益財団法人滋賀県文化財保護協会				
所在地	滋賀県大津市京町四丁目1番1号			滋賀県大津市瀬田南大萱町1732番2号				
発行年月日	平成27年(2015年)3月							
所収遺跡	ふりがな所在地	コード		世界測地系		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
まつばらないこいせき 松原内湖遺跡	ひこねし 彦根市 まつばらちよう 松原町	25202	026	35度 17分 30秒	136度 15分 59秒	20120416 ) 20130329	6,000㎡	琵琶湖流域 下水道事業 (東北部浄化センター A-3系列造成工事)
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
松原内湖遺跡	集落	縄文 ～弥生時代 古代 ～中近世	柱穴・土坑・溝 ・旧河道 遺物包含層	縄文土器・磨石 磨製石斧未製品 須恵器・土師器 ・瓦質土器・陶磁器 ・鉄斧・小柄		有舌尖頭器  木製卒塔婆 数種類の構造の柱穴		
要約	<p>松原内湖遺跡は、佐和山丘陵の西麓と琵琶湖の内湖である旧松原内湖が接する地点にあり、これまでに3次の発掘調査を実施している。第4次となる今回の調査対象地は佐和山丘陵の谷地形で、中央には細い谷川が流れている。発掘調査では、谷川にほぼ重複する位置で旧河道を検出し、谷川より北側の調査区では柱穴・溝・土坑・小穴などを検出した。南側の調査区では、段状地形の平坦面で柱穴・土坑・小穴・溝を、旧河道際の平坦面で礎石を検出した。</p> <p>調査区のある谷地形の最上部の形状は鞍部となっており、琵琶湖側の松原町から中山道側の宮田町へと至る里道として近年まで利用されていた。南調査区の段状地形はこの里道との関連を想定することができ、内湖を利用する湖上交通とのつながりについて新たな知見を得ることができた。</p>							